

2026年度 機親会事業計画

1937年（昭和12年）3月に発足した機親会は、2025年で89年目を迎える。

今年度も機親会会員の交流拡大、現役学生の支援を行い、機親会の活動の活性化を図っていきたい。

1方針

- 1) 機親会会員相互の交流拡大・・・総会の開催及び会員相互の交流支援。
- 2) 機親会情報発信の拡大・・・ホームページ等を活用して機親会の認知度向上。
- 3) 現役学生の支援の拡大・・・現役学生（学部、大学院）への支援

2活動内容

2-1 機親会会員相互の交流拡大

- 1) 機親会会員相互の交流拡大
 - ・ハイブリッド方式（対面+オンライン）による理事会、理事・評議員会及び総会の開催
 - ・学生会員、会員相互の交流を図る。
「機親会による学生海外派遣奨学支援」授与対象者による国際会議参加会の開催
- 2) 機親会会員への情報発信
 - ・ホームページ等で機親会活動を報告し、機親会のあるべき姿を追求する。
 - ・大学、研究室の近況、会員等、機親会に関わる動静を広報する。
- 3) 研究室教員との連携
 - ・研究室教員との連携を強化する。共有の課題を見出し、課題に取り組む。
 - ・研究室との懇談会の開催。
- 4) 機械系研究室の产学連携支援
 - ・会員所属会社または会員経営会社などと研究室との产学連携（共同研究、受託研究等）を図る。
- 5) 機親会設立90周年記念総会
 - ・機親会設立90周年記念総会（2026年11月21日（土）開催）の日程及び詳細については、実行委員会を開設し検討する。

2-2 学部学生及び大学院生への支援

- 1) 機械系研究室の連携支援
 - ・研究室所属学生（学部、大学院）を対象に「機親会による国際会議参加の奨学支援」制度の実施。
機械工学科、機械システム工学科所属の学部生及び機械工学領域、機械システム工学領域所属の大学院生の国際会議発表（国内外）の参加登録補助を行い、国際的な学術活動の機会拡大及び学生の資質向上を図る。
国際会議参加登録補助について、2025年度も大学より同等の額の補助があるので、それに漏れた学生・大学院生に対して支給する（大学の補助は大学院生のみ）。
- 2) インターンシップ及び就職支援
 - ・機親会会員所属の企業説明会を通じて、現役学生及び大学院生のインターンシップの情報発信等、就職支援を行う。校友会学生支援委員会と連携して活動する。
→卒業生から依頼があれば、1~3年生のメーリングリストで配信。
- 3) フレシャーズキャンプへの支援
 - ・機械系2学科のフレシャーズキャンプにおいて、新入生に機親会の紹介および入学祝（学業で使用する

文具、機親会ロゴ入り)を贈呈する。在学時から機親会の活動を周知する。

4) 機親会学生会、主に機械系学生が所属する団体への支援

- ・機械系2学科(機械工学科、機械システム工学科)学生会等の顕著な活動に対して支援する。東京都市大学機械系学科の魅力を内外に発信する。

→2025年度の支援対象団体:機親会学生会、航空研究部、学生フォーミュラ

5) 機親会賞の授与

- ・学位授与式において、機械系2学科及び機械系2領域から推薦される人物・学業優秀な学部生及び大学院生各1名に機親会賞(賞状および副賞)を授与する。

6) 機械システム工学科卒業生と現役学生の交流会(MESSAGE)支援

- ・機械システム工学科卒業生と現役学生の交流会(MESSAGE)の一層の活性化を狙って支援(開催経費の補助)を行う。

*MESSAGE: MEchanical System Symposium for all AGE

7) 機械系学生に対する「機親会主催企業見学会」の実施

- ・在学生に対する学業、キャリア育成をねらった企業見学会を行う。また、機械系学科の教員が主催する企業見学会の場合でも、機親会も協賛・後援し参加学生の交通費補助を行う。

以上